



ワルシャワ蜂起 80 周年記念関連事業 展示会「ワルシャワ。灰の中から甦る不死鳥」を開幕 ～戦時中のワルシャワの歴史と復興の歩みを特集～

東京外国語大学（東京都府中市、学長：春名展生）は、ワルシャワ蜂起博物館（ポーランド）との共催により、展示会「ワルシャワ。灰の中から甦る不死鳥」を開幕いたしました。同展示会は、ワルシャワ蜂起 80 周年記念事業の一環として企画され、戦時中のワルシャワの歴史と復興の歩みを集めています。

2025 年 5 月 12 日（月）に駐日ポーランド共和国のパヴェウ・ミレフスキ大使と、ワルシャワ蜂起博物館のパヴェウ・ウキェルスキ副館長、春名展生学長らが出席のもと、開幕セレモニーを開催しました。



開幕セレモニーにおける記念写真



ポーランド語専攻の学生に展示の説明をするウキェルスキ ワルシャワ蜂起博物館副館長

【次ページ（展示内容等）へ続く】

＜本件に関するお問い合わせ＞ 東京外国語大学 広報・社会連携課
TEL : 042-330-5151 FAX : 042-330-5140 E-mail : koho@tufs.ac.jp



展示会「ワルシャワ。灰の中から甦る不死鳥」

この展示会では、ポーランドの運命と戦時中のワルシャワの運命、そして多大な戦争被害を被ったものの灰の中から甦る不死鳥のように立ち上がったワルシャワを示しています。廃墟から立ち上がり、今日では近代的でダイナミックな大都市となったワルシャワの復興が、最終章のキーワードとなっています。写真や資料を通じて戦争の影響を受けたワルシャワの過酷な歴史と、灰の中から甦り近代都市へと復興したその姿を鮮明に描き出しています。

展示会は、6月10日（火）まで、平日のみ毎日 8:00～20:00 の時間帯にて公開されています。

開催概要

会期：2025年5月12日（月）～6月10日（火）
土日・祝日は除く 8:00-20:00

会場：東京外国語大学 研究講義棟1階 ガレリア
（東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅徒歩5分）

主催：ワルシャワ蜂起博物館（ポーランド共和国ワルシャワ市）
共催：東京外国語大学
パートナー：ポーランド広報文化センター、ポーランド共和国外務省



展示の一例

写真：ワルシャワ蜂起映像のカラーフレーム（反乱軍のニュースフィルムから作成）、ワルシャワ蜂起博物館所蔵